

井原市商店街の家並み調査記録にあたって

●明治39年の大火によって焼失するまでは、井原百軒といわれた「井原市」、その中心は現在の中市・下市だった。大正4年、現在の上市に「井原市駅」が開設されると、駅前からしだいに商店が立ち並び、旭橋をはさんで旧市に接続、白木町最大の商店街を形成するに至った。

●戦国時代に整備された、吉田と広島を結ぶ主要道中筋往還(旧中郡道)。井原市はその往還上に位置し、西隣りの志路谷や東隣りの有留村へそれぞれ往還が通じ、交通上極めて重要な地域だった。

●元禄3年(1690年)三篠川筋の水運が完成し、井原市は陸上及び水上交通の要衝として発展、近郊より物産が集積され、地域経済の中心地となった。

●明治以降は早くから郵便局や登記所などの経済・行政インフラが機能しており、井原郵便局は明治15年開局、その担当区域は井原、市川、秋山、小越、三田、古屋、有留、と広範囲だった。登記所は明治26年開設、旧高田郡内では吉田と井原に置かれ、昭和58年、可部と吉田に分割閉鎖されるまでその役目を果たした。

●また、井原市には常設の牛市場があり、売買は「ばくろう」という牛馬商の三才へ手により近郊の牛が取引された。買い手は遠く神戸や下関からも来ていたと言われ、昭和30年に廃止されるまでつづいた。

●この牛市場の存在が井原市の商店街の規模拡大に大きく関わったことは明らかで、牛市に集まる人たちのための飲食、日用雑貨、旅館、娯楽遊興施設などを含め多様な店にぎわった。

●商店街で毎年5月25日と30日に催される「魚市」は、近郊地区からも多くの人が集まっていた。その魚市もいつの時代か姿を消してしまっただが、当時の賑わいを脳裏に刻まれている方は多いと思われる。

●このような井原市の商店街のにぎわいや生活風景は、私たちの記憶からすっかり消え去ろうとしており、少しでも後世に語り継ぐ必要がある。

主な参考文献

『高田郡誌』『白木町史』『芸藩通誌』『ふるさと井原の探訪』

調査編集の方法と留意した事項

1. 主として市集落にお住まいの方からのヒアリングをとおして得た情報を記録した。
2. できるだけ個人名によらず、商店名(商売内容は何か?)表記とした。
3. 複数の取扱品目については代表的なものを表記するようにした。
4. 土地や建物の所有者よりも使用者及び入居者表示を優先した。
5. 家屋等の大きさは実測ではなく概念図とした。
6. 水路、里道についても可能な限り表示した。
7. 記憶をたどり複数の意見を集約した関係で、名前(店名)、年代、等について若干の齟齬はあると思われる。

大正4年4月

芸備鉄道会社が「東広島一志和地」間に鉄道を開通、井原市駅を設置

昭和12年7月

国鉄が広島一三次間を買収芸備線と呼称する

当時の運賃

大正4年の開業当時
東広島〜井原市 三等56銭

昭和12年

広島〜井原市 三等95銭

※資料「白木町史」

井原市駅



開業当時の面影を残す井原市駅 (H23年撮影)



井原駐在所

- 明治19年11月
吉田警察署井原交番所を置く
- 明治20年4月
交番所を廃し、巡査駐在所を設ける
- 平成14年3月 ▶閉鎖
- 平成14年4月
秋山に白木交番所を置く

※資料「白木町史」

上市の地蔵堂

▶「地蔵の渡り道」と呼ばれ、対岸の中束から上市へ無事渡るために祈願した



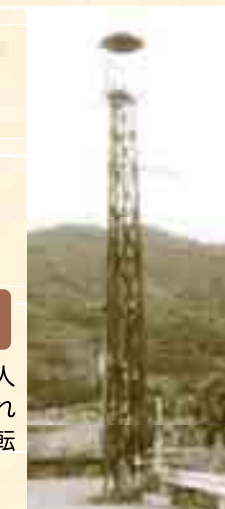
(H23年撮影)



昭和40年代の井原市商店街 (井原市駅近く)

サイレン

▶昭和13年に谷岡益人氏が寄贈して設置されたサイレン。現在、移転して一部保存



懐かしい茅葺き屋根が見られた昭和40年代



現存する理容店 (H23年撮影)



懐かしい広告灯 (S40年代撮影)

魚市

開店準備をしている「魚市」(S40年代撮影)



三篠川

▶広島城への年貢米輸送路として川船の開通に向け、1633年から1690年(58年間)にかけ、三田村から高田原村まで完成



都川文兵衛の墓 (H23年撮影)

今も残る芸備酒造(株)の赤煉瓦の煙突 (H23年撮影)



芸備酒造(株)



明治時代の井原郵便局 (M29〜S41まで)



(H24年撮影)

- 大正14年9月
芸備酒造株式会社設立
- 昭和19年
政府(広島財務局)から企業整備の要請を受けて閉鎖

※資料「白木町史」



平和な今井原市の空にはパラグライダーが飛んでいる

明治15年8月

市川郵便取扱所を廃し井原郵便局を設置(昭和41年移転)

※資料「ふるさと井原の探訪」「白木町史」



井原小学校 (S23年撮影)



井原小学校の玄関 (S23年撮影)



市明橋から校舎を望む (S25年撮影)

登記所(法務局)



登記所(法務局) (S44年5月撮影)

- 明治26年10月
三次区裁判所井原出張所を開設
- 昭和24年10月
広島法務局井原出張所
- 昭和58年3月
吉田出張所と可部出張所に分割され閉鎖

※資料「広島法務局」

井原村時代の村役場 (明治時代の撮影)

井原尋常高等小学校

- 明治7年8月
育英館(市)、進徳館(東日誌)を創設
- 明治8年
育英館を村立と認め進徳館を廃館、井原小学校(第1678番)とする
- 明治10年
井原村立小学校
- 明治23年10月
井原尋常小学校と改称
- 明治33年8月
井原尋常小学校に高等科を併設、井原尋常高等小学校と称す

※資料「ふるさと井原の探訪」「白木町史」

井原村立図書館

- 大正13年2月
井原尋常高等小学校に井原村立図書館を付設

※資料「井原村役場 条例簿」

井原中学校

- 昭和22年4月
新制小中学校が発足。村立井原中学校を設立
- 昭和24年4月
四か村学校組合立高南中学校と名目統合、井原他三か所に分教場を置く
- 昭和27年4月
学校組合立を廃し、各村立の中学校として独立、井原中学校と校名を改める

※資料「白木町史」



井原中学校 (S23年撮影)

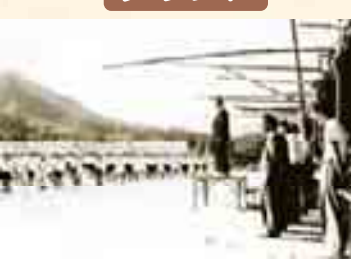
中郡道

▶安芸高田市から広島市を結ぶ「中筋往還」の一部



data Copyright © 2012 Bureauroodoshikenkyukai map & illustration Copyright © 2012 eishin CUI All Rights Reserved.

グラウンド



運動会風景 (S25年撮影)



(H23年撮影)

胡堂

▶近隣市町村への里程は胡堂を基点に決められた。文政2年の記録に「里程 当村胡堂より広島へ八里半 吉田へ三里 古屋村魚切り迄一里…」とある